

酒類メーカーとしての責任

経営諸課題		特に貢献するSDGsターゲット	CSVコミットメント							
中項目	テーマ		アプローチ（社会的・経済的価値）	成果指標	会社/部門	目標値	目標年	2022年実績	2023年実績	2024年実績
アルコール関連問題への対応	適正飲酒啓発	3.5	お客様に適正な飲酒の情報を提供し、適正飲酒啓発を推進することで、アルコールの有害摂取の根絶に繋げるとともに、酒類を製造・販売する企業グループとしての社会的責任を果たし、酒類事業環境の維持継続に繋がります。	適正飲酒啓発プログラムへの参加者数、飲酒マナー・スロードリンク動画やホームページ啓発コンテンツの訪問数	キリンビール	75万人	2022年～2024年累計	106万人	15万人	3,688人
					メルシャン	7,200人	2022年～2024年累計	4,530人	6,179人	7,116人
					ライオン	10万人	2022年～2024年累計	4.2万人	5.1万人	2.2万人
					キリンホールディングス CSV戦略部	13.5万人	2022年～2024年累計	8.1万人	6.1万人	2.0万人
	ノン/低アルコール販売の拡大	3.5	ノンアルコール・低アルコール商品の提供を通じて、お客様の目的に応じた選択肢を拡充し、お客様のアルコール摂取量のコントロールを支援するとともに、ノンアルコール・低アルコール商品による事業成長に繋がります。	ノンアルコール製品販売数量の伸長率	キリンビール	117%（2021年比）	2024年	93%（2021年比）	87%（2021年比）	78%（2021年比）
				ノンアルコール・低アルコール製品販売数量の伸長率	メルシャン	115%（2021年比）	2024年	79%（2021年比）	58%（2021年比）	59%（2021年比）
	純アルコール表示	3.5	アルコール量を表示することで、お客様がアルコール摂取量を把握し、コントロールすることを支援するとともに、酒類を製造・販売する企業グループとしての社会的責任を果たし、酒類事業環境の維持継続に繋がります。	純アルコール量のラベル表示	キリンビール	表示開始	2022年	表示開始	一部海外ブランドを除いて表示完了	一部海外ブランドを除いて表示完了
					ライオン	100%	2024年	100%	100%	100%

健康

経営諸課題		特に貢献するSDGsターゲット	CSVコミットメント							
中項目			アプローチ（社会的・経済的価値）	成果指標	会社/部門	目標値	目標年	2022年実績	2023年実績	2024年実績
食の安全・安心の確保		2.4	国際認証（GFSI認証スキーム・ISO22000スキーム）を活用した衛生管理、食品安全管理体制をグローバルに推進し、お客様の安全と安心に繋がります。	食品安全の国際認証（GFSI認証及びISO22000）取得率	キリンホールディングス品質保証部	96%	2024年	87%	93%	96%
Unmet Medical Needsを満たす医薬品の提供		3.8	ひとりでも多くの患者さんにlife changing valueのひとつとしてのCrysvitaを提供し、患者さんの健康と福祉に貢献することで、事業の拡大に繋がります。	Crysvitaの上市国・地域数	協和キリン	50カ国・地域以上	2025年	40カ国・地域	46カ国・地域	52カ国・地域
免疫機能の維持支援 生活習慣病の予防支援	3.3	日本発の免疫研究の社会実装によって、世界の人々の健康に貢献します。プラズマ乳酸菌によりお客様の免疫機能の維持支援を行い、正しい免疫ケアの習慣化を促し、グループ資産を活かした商品展開により、国内外の新たな市場の開拓へと繋がります。	プラズマ乳酸菌の機能認知率	キリンホールディングスヘルスサイエンス事業部	50% 45%	2027年 2024年	32%	31%	30%	
			プラズマ乳酸菌の国内外の継続摂取人数		190万人	2024年	64万人	78万人	78万人	
	3.3	健康領域の商品を開発・育成し拡大していくことで、普段の食生活を通したお客様の健康維持に貢献し、事業の成長へと繋がります。	健康に貢献する商品の売上高構成比	キリンビバレッジ	49%	2024年	45%	49%	49%	
	3.4		摂り過ぎない健康商品の売上高		110%（2021年比）	2024年	101%（2021年比）	112%（2021年比）	122%（2021年比）	
			ヘルスサイエンス領域商品の売上高		145%（2021年比）	2024年	107%（2021年比）	147%（2021年比）	163%（2021年比）	
	3.3	免疫機能の維持支援に繋がるプラズマ乳酸菌を使用した商品や生活習慣病の予防支援に向けた無糖・無脂肪・低脂肪商品を通じて、お客様の健康維持に貢献し、事業の成長へと繋がります。	健康に貢献する商品の売上高	小岩井乳業	120%（2021年比）	2024年	106%（2021年比）	106%（2021年比）	117%（2021年比）	
	3.4									
免疫機能の維持支援 脳機能のパフォーマンス向上と衰え予防の支援 栄養へのアクセス向上	2.2	粉ミルクから健康食品まで幅広い市場に対し、高品質のヒトミルクオリゴ糖（HMO）を供給し、幅広い地域・年齢層のお客様の健康増進に貢献することで、事業の成長へと繋がります。	HMO配合製品（粉ミルク、健康食品など）の国内外の使用人数	協和発酵バイオ	200万人	2027年	生産設備を完成	製品の発売を開始	7,309人	
	3.3									
	3.4									
	9.5									
健康経営の実現	3.4	お客様に「健康」をお届けする企業グループとして、従業員やその家族が、これからの人生を健康でこころ豊かに過ごし、従業員が個々の能力を発揮できる環境の構築を目指します。	対象会社※1におけるブレゼンティーズム※2の調査スコア	キリンホールディングス人財戦略部	2022年より改善	2024年	62.55	63.29	63.60	
			対象会社※1における適正体重維持者率		2020年(63.8%)より向上	2024年	63.9%(2021年実績)	64.3%(2022年実績)	64.6%(2023年実績)	
			国内事業会社におけるAUDIT8点未満の従業員の割合		73%以上	2024年	72.5%	71.6%	71.7%	
脳機能のパフォーマンス向上と衰え予防の支援	2.2	脳機能サポート素材であるシチコリンを供給することで、患者さんへの処方と、健康食品市場の脳機能へのニーズに応えて、お客様の健康的な生活を支援し、市場の拡大へと繋がります。	シチコリン配合製品（医薬品・健康食品など）の国内外の使用人数	協和発酵バイオ	400万人	2027年	153万人	191万人	237万人	
	3.4									
	9.5									

※1：キリンホールディングス/キリンビール/キリンビバレッジ/メルシャン/協和発酵バイオ/協和キリン

※2：健康の問題を抱えながら仕事を行っている状態のこと

コミュニティ

経営諸課題	特に貢献するSDGsターゲット	CSVコミットメント							
中項目		アプローチ（社会的・経済的価値）	成果指標	会社/部門	目標値	目標年	2022年実績	2023年実績	2024年実績
食の安全・安心の確保	8.7 8.8 12.7	サプライチェーンの人権と現代奴隷に対処するため、豪州現代奴隷法を順守します。	豪州現代奴隷法の順守率	ライオン	100%	2024年	100%	100%	100%
Unmet Medical Needsを満たす医薬品の提供	8.7 8.8 12.6	主要原材料のサプライチェーンにおける人権課題のリスク低減、クライシス発生防止に取り組み、持続可能な原材料の調達に繋がります。	人権リスクが高い農産物のサプライチェーンに対する継続的な人権デューデリジェンスの実施（開始）件数	キリンホールディングス調達部	3件	2022年～2024年累計	1件	1件	1件
免疫機能の維持支援 生活習慣病の予防支援	2.3 17.17	日本産ホップ栽培を取り巻く課題解決を通じて、地域社会・経済の活性化に貢献し、原料生産の持続可能性と事業の成長に繋がります。	日本産ホップ生産量	キリンビール	100t	2027年	105t	78t	81t
	2.3 4.5 17.16	「午後の紅茶」におけるレインフォレスト・アライアンス認証取得の拡大を通じて、スリランカの紅茶葉農園の持続的発展と安定的な調達に繋がります。	スリランカ紅茶農園の持続的な発展に向けたRA認証取得支援農園数	キリンビバレッジ	大農園：15 小農園：5,350	2022年～2024年累計	大農園：4 小農園：9	大農園：0 小農園：620	大農園：5 小農園：3,389
	2.3 15.4 17.17	高品質なブドウの栽培と適切な農地拡大を通じて、環境保全や地域の農業・経済活性化に貢献し、原料生産の持続可能性と安定的な調達に繋がります。	自社管理畑のブドウ収穫量	メルシャン	160t	2024年	167t	154t	124t
	12.6 17.17	ビジネスパートナーと共に、原材料調達の透明性を高め、サプライチェーンの持続可能性向上に繋がります。	重要サプライヤーのSEDEX（または同等の認証）順守率	ライオン	95%	2024年	68%	86%	96%
	11.a	「午後ティーHAPPINESSプロジェクト」を通じて、復興に向けて前へ進む方々と全国の応援の気持ちをつなぐことで、こころ豊かな社会の実現に貢献し、「午後の紅茶」ブランドの成長に繋がります。	「午後ティーHAPPINESSプロジェクト」商品販売数量	キリンビバレッジ	115%（2021年比）	2024年	120%（2021年比）	130%（2021年比）	75%（2021年比）
	11.a	ワインを通じて、人と人とのつながりを創出することで、お客様に笑顔あふれる楽しい時間を提供し、ブランド価値の向上と事業基盤の強化に繋がります。	日本におけるワイン飲用量	メルシャン	32.3%	2024年	30.7%	28.5%	27.0%
免疫機能の維持支援 脳機能のパフォーマンス向上と衰え予防の支援 栄養へのアクセス向上	11.a	コミュニティ投資パートナーと共に、お客様や地域の方々とのコミュニティを通じて、人々の心の健康に貢献します。	コミュニティ投資プログラムによるリーチ人数	ライオン	8,000人	2022年～2024年累計	2,498人	2,737人	7,614人
健康経営の実現	11.a	サッカー応援を通じて人々の心と体の健康をサポートすることで、こころ豊かな社会の実現に貢献し、企業ブランド価値の向上に繋がります。	「キリンファミリーチャレンジカップ」の全国開催と、参加者調査「人・社会とのつながり」スコア	キリンホールディングスマーケティング戦略部	・全国4会場で実施 ・参加者調査項目「人・社会とのつながり」イメージ：平均7割以上	2023年～2024年累計	－	・2会場で実施 ・「人・社会とのつながり」イメージ97.8%	・2会場で実施 ・「人・社会とのつながり」イメージ97.6%
	8.9 11.a 17.17	クラフトビールカテゴリーの拡大を通じて、お客様のビールの楽しみを広げ、ビール文化や食文化を発展させることで、ビジネスパートナーや産業の活性化に貢献し、事業の成長に繋がります。	日本全体のクラフトビール市場規模	キリンビール	150%（2021年比）	2024年	115%	124%	117%
	2.3 4.5 17.16	「午後の紅茶」のブランド活動を通して、日本の紅茶市場の活性化に貢献することで、スリランカ産茶葉の購入量を増やし、スリランカの紅茶産業の発展に貢献し、事業の成長に繋がります。	清涼飲料市場（ドライ）内における紅茶市場の構成比	キリンビバレッジ	4.91%	2024年	4.81%	4.76%	4.88%
脳機能のパフォーマンス向上と衰え予防の支援	8.9 11.a 17.17	シャトー・メルシャンのワイナリーを通じた、所在地域におけるコミュニティの創出・活性化により、産地や日本ワイン産業の振興に貢献し、事業の成長に繋がります。	日本ワインの認知率	メルシャン	31.4%	2024年	目標を設定	28.7%	31.1%

環境

経営諸課題		特に貢献するSDGsターゲット	CSVコミットメント							
中項目	テーマ		アプローチ（社会的・経済的価値）	成果指標	会社/部門	目標値	目標年	2022年実績	2023年実績	2024年実績
持続可能な生物資源の利用	紅茶葉	2.3 4.6 15.4	レインフォレスト・アライアンス認証の取得支援を拡大し、生産地における環境問題などを解決することで、紅茶葉の安定調達に繋がります。	スリランカにおけるレインフォレスト・アライアンス認証取得支援農園数	キリンビバレッジ	大農園：15 小農園：5,350	2022年～2024年累計	大農園：4 小農園：9	大農園：0 小農園：620	大農園：5 小農園：3,389
		紙	FSC®認証紙の調達などを通じて、森林破壊の可能性のある原材料の持続可能性確保に繋がります。	紙製容器包装でのFSC認証紙または古紙の使用（率）※3	キリンビール	100%	2024年	100%	100%	100%
					キリンビバレッジ	100%	2024年	100%	100%	100%
					メルシヤン	100%	2024年	100%	100%	100%
					小岩井乳業	100%	2030年	4 製品の切替実施	93%	93%
持続可能な水資源の利用	フードウェイスト	12.3	製品廃棄の削減や再資源化を推進し、生産活動で発生するフードウェイストの削減に繋がります。	製品廃棄量削減率	キリンビール	50%（2015年比）	2024年	50%以上達成	50%以上達成	50%以上達成
					キリンビバレッジ	50%以上（2015年比）	2030年	50%以上達成	50%以上達成	50%以上達成
					キリンビール	5.6㎡/kl以下	2024年	5.6㎡/kl以下	5.8㎡/kl	5.5㎡/kl
					メルシヤン	3.41㎡/kl以下	2024年	3.54㎡/kl	3.60㎡/kl	3.51㎡/kl
		6.4	事業活動における水使用量を削減するとともに、水源地保全活動等を行うことで、水資源の持続可能性確保に繋がります。	用水原単位	※藤沢工場 ライオン	2.4kl/kl未満	2025年	3.6kl/kl	3.3kl/kl	3.1kl/kl
					※Tooheys,Castlemaine Perkins,James Boag,Pride					
					キリンビバレッジ ※湘南工場、信州ビバレッジ 協和発酵バイオ 協和キリン	2023年以下	2024年	1,950,000m ³	1,750,655m ³	1,873,762㎡
						32%減（2015年比）	2030年	51%	63%	66%
						40%減（2019年比）	2030年	33%	36%	34%
						50%	2027年	8%	28%	36%
容器包装資源の持続可能な循環	12.4 14.1		リサイクル材・バイオマスなどの使用や新容器・サービスの開発に加えて、リサイクルシステム構築や事業展開地域における資源回収・リサイクルインフラ整備を行うことで、ペット資源循環の持続可能性向上に繋がります。	ペットボトル用樹脂のリサイクル樹脂の使用率	キリンビール					
					キリンビバレッジ					
					メルシヤン					
					メルシヤン	ペット容器93t その他プラスチック容器34.5t（2020年比）	2024年	ペット容器66t その他プラスチック容器13.2t	ペット容器159t その他プラスチック容器20.5t	ペット容器148t その他プラスチック容器24.8t
					ライオン	100%	2025年	99%	99%	99%
気候変動の克服	7.2 13.1		早期にRE100を達成し、自社の使用エネルギーを100%再生可能エネルギー起源にすることに加えて、再生可能エネルギーを社会に広げ、ステークホルダーと共に脱炭素社会に寄与するビジネスモデルの構築に繋がります。	GHG（Green House Gas）排出削減率：Scope1+2	キリンビール	55%（2019年比） 30%（2019年比）	2030年 2024年	10%	17%	30%
					キリンビバレッジ	55%（2019年比） 17%（2019年比）	2030年 2024年	11%	16%	14%
					メルシヤン	55%（2019年比） 25%（2019年比）	2030年 2024年	6%	33%	48%
					ライオン	55%（2019年比） 30%（2019年比）	2030年 2024年	26%	43%	43%
					協和発酵バイオ	55%（2019年比） 32%（2019年比）	2030年 2024年	32%	47%	52%
					協和キリン	55%（2019年比） 51%（2019年比）	2030年 2024年	42%	55%	64%
					グループ全体の使用電力の再生可能エネルギー比率	100%	2040年	27%	42%	49%
					GHG（Green House Gas）排出削減率：Scope3	キリンホールディングス CSV戦略部	30%（2019年比）	2030年	8%	10%

※3：各事業会社にて取り扱う紙製容器包装であり、対象は各事業会社にて定める。
海外対象会社は持続可能な紙資源の調達状況を確認し、今後の目標を設定していく。